

PILO KIDS

—— 小中学生からの大学講義 ——

2026. 9. 26 開校後の授業について

2026. 7. 26

株式会社MK企画

開校後の授業

〔倫理学〕



いい、わるいってどうやって決まるの？

——「なんで？」からはじまる倫理のはなし

「ウソをつくのは悪いこと」「友だちを大切にするのはいいこと」——こう教えられたとしたら、そんなことなんぞで言えるの!?と疑問に思いませんか？ こんな問題の解決を目指して、生まれた「倫理学」に触れて、みんなも自分の「倫理」を見つけてみましょう！

佐藤岳詩

1979年生まれ。哲学者。専修大学文学部哲学科教授。専門はメタ倫理学、およびエンハンスメントを中心とした応用倫理学。専門書にならび、倫理学の諸問題を子どもや初学者にもわかりやすく、魅力的に解説した本でも知られる。著書に『R.M.ヘアの道徳哲学』、『メタ倫理学入門』（勁草書房）、『「倫理の問題」とは何か』（光文社新書）、『心とからだの倫理学』（ちくまプリマー新書）、『こども倫理学』（監修、カンゼン）など多数。

〔医学・解剖学〕



ぼくらのカラダ、どうなってるの？

口で食べ物を味わうと、ぼくたちは幸せになる。そしてウンチが出ると、気持ちいいと思う。でも、その間にカラダのなかではいったいなにが起こっているのか？ きわめて精巧な機械のように働く身体の中身をのぞいてみて、その驚きの秘密に迫ってみよう！

坂井建雄

解剖学者。順天堂大学名誉教授。専門の解剖学のみならず、歴史への広い視野に基づく医史学に関する研究でも知られ、他方で子どもや一般読者向けに、身体の不思議をやさしく解説した著書、テレビ出演等も多い。『図説 医学の歴史』（医学書院）をはじめとした専門書や医療従事者向けの教科書、『医学全史』（ちくま新書）、『面白くて眠れなくなる人体』（PHP研究所）などの一般向け読み物だけでなく、『世界一美しい人体の教科書』（ちくまプリマー新書）、『からだのふしぎ』（高橋書店）などの子ども向け医学書まで、幅広い著書を発表している。

〔生きもの〕



葉っぱの化石からわかる、太古の虫たちの世界

葉っぱの化石を見たことはありますか？ よく見ると、虫にかじられたり、吸い取られたりした跡が残っていることがあります。その食べ跡を手がかりに、昔の昆虫と植物の進化の道筋をたどり、生き物たちの「激動の歴史」を読み解きます！

今田弓女

昆虫学者。京都大学大学院助教。子どもの頃から「虫博士」と呼ばれるほどの虫好きで、京都大学進学後、学部1年生にして研究対象を決め、学部3年生で査読論文を出版。海外のNATURE誌などでも高い評価を受ける。共著に『新種発見物語』（岩波ジュニア新書）、『シリーズ地球生命史 第3巻 古生代——陸上への進出』（共立出版）などがある。

〔美術〕



ぼくたちのまわりはアートでいっぱい！

アートは美術館で鑑賞するものだと思っていますか？ じつはぼくたちの身のまわりは、アートでないもののほうがずっと少ないと言えます。巨匠が描いた名画を眺め、そこに隠された謎を読み解きながら、アートっていったいなんなのか、一緒に考えてみよう。

池上英洋

美術史家。東京造形大学教授。専門はイタリアを中心とした西洋美術史・文化史。著書に『西洋美術史入門』『死と復活』（筑摩書房）、『イタリア 24の都市の物語』（光文社）、『神のごときミケランジェロ』（新潮社）、『「失われた名画」の展覧会』（大和書房）、『額縁のなかの女たち』（NHK出版）、『錬金術の歴史』『イタリア・ルネサンス』『西洋画家図鑑』（創元社）など。日本文藝家協会会員。

[生きもの]



佐藤圭一

サメ博士。現在、沖縄美ら島財団総合研究所・所長と沖縄美ら海水族館・館長を兼務。あわせて、日本動物園水族館協会副会長。子ども向けイベントへの登場も多く、多くの謎を秘めたサメの生態の紹介を通して科学の魅力を伝え、同時に、科学的なエビデンスに基づいた最適な保護に取り組む。主な著書に、『沖縄美ら海水族館はなぜ役に立たない研究をするのか』（共著、産業編集センター）、『サメすご図鑑』（KADOKAWA）など。

サメの世界は不思議でいっぱい！

サメはこわい動物でしょうか？ いいえ、世界中の海のサメを調べてみると、じつはとてもおもしろい動物です！ じつに560以上もの種類が存在し、知られているサメはそのごく一部。半分以上は深海に住んでいるため、誰も生きている姿を見たことがないサメもたくさん！ まだまだ多くの謎を秘めた生きものなのです。こんなにも多様なサメの不思議に迫り、海や自然について考えてみよう！

[聖書考古学]



長谷川修一

聖書学者、考古学者。立教大学文学部教授。筑波大学大学院博士課程単位取得退学。ハイデルベルク大学(ドイツ)神学部博士課程に学び、テル・アビブ大学(イスラエル)大学院ユダヤ史学科博士課程修了。主な著書に『聖書考古学』『旧約聖書の謎』（中公新書）、『謎解き 聖書物語』（ちくまプリマー新書）、共編著に『歴史学者と読む高校世界史』（勁草書房）など。

バベルの塔——古代の巨大建造物の謎

世界最古の超高層ビル計画「バベルの塔」は実在したのでしょうか？ 今のイラクには、モデルとされる巨大な階段状の塔「ジックラト」の跡が残っています。当時の人々は、石の代わりに「焼いたレンガ」を、接着剤に「天然アスファルト」を使う最新技術で、高さ90メートルもの塔を建てようとしていました。発掘されたレンガや遺跡の形から、大昔のエンジニアたちが挑んだ驚きの街づくりに迫ります！

こんな講師陣もご登壇予定です(講義内容は現在相談を進めております)

◇ 酒井邦嘉

脳生理学者。東京大学教授。著書に『言語の脳科学』『科学者という仕事』（中公新書）、『人間とは何だろうか』（河出新書）、『高校数学でわかるアインシュタイン』（東京大学出版会）など多数。

◇ 小川仁志

哲学者。青山学院大学教授。哲学のさまざまな問題を一般向けに易しく解説した膨大な数の書籍や、高田純次、みちよばに哲学を説く専門家としてレギュラー出演していた「世界の哲学者に人生相談」、ロッチと共演した「ロッチと子羊」(いずれもNHK Eテレ)などのテレビ出演も多数。

◇ 竹野内世理愛(旧姓:山崎)

考古学者。早稲田大学文学部講師。とくに古代エジプトの埋葬習慣、葬送儀礼や装飾品について研究する。著書に『一冊でわかるエジプト史』（共著、河出書房新社）などがある。

◇ 白木夏子

HASUNA Co.,Ltd. Founder & CEO、武蔵野大学アントレプレナーシップ学部教授。搾取や児童労働を背景に成り立っていたジュエリー界の実情に変革をもたらし、エシカルなビジネスの手法を率先して日本に取り入れた社会起業家として知られ、2014年にはForbes誌「未来を創る日本の女性10人」、2017年にはCNNによる「リーディング・ウーマン・ジャパン」に選出されるなどの業績を持つ。